

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公開番号】特開2015-47788(P2015-47788A)

【公開日】平成27年3月16日(2015.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-017

【出願番号】特願2013-181282(P2013-181282)

【国際特許分類】

B 2 9 C 71/02 (2006.01)

B 2 9 K 67/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 71/02

B 2 9 K 67:00

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月15日(2016.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耐熱性フィルムの製造方法であって、温度 100～200℃に予熱された予熱ロールに、結晶性熱可塑性樹脂フィルムを、連続的に 1.0 秒以上抱かせる工程；を含む方法。

【請求項 2】

上記予熱ロールにおける上記結晶性熱可塑性樹脂フィルムの抱き角が 135 度以上であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

上記予熱ロールの半径が 180 mm 以上であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

上記結晶性熱可塑性樹脂フィルムが一般社団法人日本有機資源協会の定義するバイオマスプラスチックのバイオマス割合が 10 質量% 以上である請求項 1～3 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

上記結晶性熱可塑性樹脂フィルムがポリブチレンテレフタレート系フィルムである請求項 1～4 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

化粧フィルムの製造方法であって、  
請求項 1～5 の何れか 1 項に記載の方法により耐熱性フィルムを生産する工程；  
上記工程で生産された耐熱性フィルムを使用する工程；  
を含む方法。

## 【請求項 7】

ポリブチレンテレフタレート系耐熱性フィルムであって、温度 30～120℃の熱変形率（ $\alpha$ ）が－3.0～3.0%であることを特徴とする耐熱性フィルム。

## 【請求項 8】

一般社団法人日本有機資源協会の定義するバイオマスプラスチックのバイオマス割合が 10質量%以上であることを特徴とする請求項 7に記載の耐熱性フィルム。

## 【請求項 9】

請求項 7 又は 8 に記載の耐熱性フィルムを含む化粧フィルム。